

建設経済常任委員会記録

日時 令和8年7月24日（金）

場所 第三委員会室

午後 1 時 3 0 分 開 会

○武田恵子副委員長 ただいまから建設経済常任委員会を開会いたします。本日の欠席通告者は、佐藤喜紀委員長であります。酒田市議会委員会条例第12条第1項の規定により、副委員長の私が委員長の職務を行います。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

最初に、本日の委員会の趣旨についてご説明いたします。令和7年9月定例議会において、本委員会が取りまとめ、市長に提出いたしました「酒田市の観光戦略に関する提言」について、令和8年度当初における予算措置の有無や、現在の取り組み状況について当局より調査シートの回答をいただきました。本日は、中間の評価検証といたしまして、この回答を基に当局へのヒアリングを行い、1回目の検証といたします。

提言項目はすべて『完了』となっております。新たな観光戦略が策定され、一定の区切りを迎えたことは承知しておりますが、提言の目的は、計画書を作るのではなく、本市の観光振興が実際に実効性を持って進むことにあります。この計画が実態としてどのように動き出しているのか、予算措置項目を中心に検証し、また、計画本文のみの記載に留まる項目についても、今後の道筋を確認したいと思います。

1 政策提言の検証について

○武田恵子副委員長 当局の調査表の補足説明をお願いします。なお、全項目ではなく、今年度予算が措置されている主要項目を中心に、現時点での進捗と具体的な動きを簡潔に報告してください。

観光物産課長。

○観光物産課長 それでは私の方から、酒田市の観光戦略に関する提言に対する取組についてご説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。それでは、調査票に沿って説明いたします。

今回の調査票につきましては、政策提言におきまして、新たな観光戦略に盛り込む項目を具体的にご提示いただきましたので、その結果、令和8年3月に策定した観光戦略のどの項目に反映させているかを、まずはご報告させていただきました。いただきました提言は全て、新たな観光戦略に盛り込んでおりますので「完了」ということで記載させていただいております。新しい観光戦略は3月に策定したもので、スタートしてからまだ4か月余りのため、個別の項目につきましては、進捗状況をご報告できるものがかなり少ないのですが、調査票の補足説明をしながら、現在着手して進んでいる項目についてもいくつか抜粋してご説明させていただきます。

まずは1、「酒田市中期観光戦略～新酒田物語～」について（1）これまでの総括をすることでございます。酒田市中期観光戦略は、平成28年3月に策定し、10年間の観光政策の展開を示したものでございます。オリジナルストーリーとして、北前船や最上川船運で栄えた

酒田の特性、公益、こちらの公益は公益大学の方の公益でございますが、豪商本間家などによる地域風土としての特性の2本を柱といたしまして、それを核としながら、「歴史・伝統」「食・食文化」「自然景観」「公益と豪商」の四つのサブストーリーを設定し、進めていくというものでした。サブストーリーごとに取り組む政策例を挙げているものの、具体的な目標を設定していなかったために、達成度を比較することができませんでした。総括もそれにより難しいものになったということです。

この間の大きな成果としては、日本遺産の認定、観光庁登録DMOの認定、旧割烹小幡の整備などを実現したことではなかったかと捉えております。また、新しい観光戦略を策定するにあたり、策定委員会を4回開催いたしました。その中でも、当然中期観光戦略の総括をしなければなりませんでした。先ほど申し上げたとおり、具体的な目標数値を設定していなかったため、策定委員会では、中期観光戦略の取組経過ということで取り組んだ事業をピックアップして実績を報告させていただきました。これまでの計画や戦略では、取組方針を示すにとどまり、個々の取組の中間目標指数K P Iが示されておらず、適切な効果検証ができないという課題が残りました。その反省を生かしまして、新たな観光戦略では、最終的な到達目標K G Iを定めまして、目標達成のための短期的なアクションプランごとにK P Iを設定することで、効果検証と事業の見直しが可能な仕組みを取り入れております。

続きまして、2、令和8年度からの新たな観光戦略の策定についてでございます。（1）から（4）まで四つの項目をご提言いただきました。まず（1）観光戦略を展開する政策アクションプログラムに明記することというご提言でございますが、今年度予算を措置し、観光戦略アクションプラン推進事業ということで1,807万円を予算づけしております。内容といたしましては、国の地域みらい交付金を活用いたしまして、山居倉庫PR用の3D動画の作成、また山居倉庫において音声ガイドシステム、スマホを持ちながら移動すると音声で山居倉庫の説明をもらえるというアプリの導入などの整備を検討いたしております。またこれは秋のクルーズに間に合うように現在準備を進めているところでございます。

（2）観光関係団体の役割を明記し、その上で連携し実効性のあるものにすることでございます。こちらは本文の観光戦略推進のための目指すべき体制に観光推進体制の将来像を記載しております。先日、委員の皆様にもご説明させていただきましたが、観光物産協会と酒田DMOの統合ということで、新たな組織体制を目指しまして、令和9年度からスタートできるように現在準備を進めているところでございます。

続きまして、（3）計画の見直し時期を設定し、点検・検証・分析を怠らないことというご提言でございます。新たな観光戦略は、令和9年から令和16年までの9年間と設定しております。3年サイクルで効果検証を行い、適宜見直していくということにしております。3年という大変短いスパンになるわけですが、前回の計画時の課題といたしまして、想定外の事態が起こる、前回であればコロナの影響によって社会も生活様式も変わりまして、観光の形態も大きく変わりました。そのときのトレンドをやはり取り入れながら見直していくということで、今回は3年サイクルということを取り入れさせていただいております。

（4）観光資源の活用促進をすることは次の附帯項目の方でご説明させていただきたいと思っております。

それでは、附帯項目の中から抜粋してご説明をさせていただきたいと思っております。まずは1、関係団体との観光戦略、（1）市からの補助金等交付団体への指導ということは本文の

「Ⅳ、ありたい姿を実現するための取り組み【観光まちづくりを支える基礎的な取り組み】」という項目の中に、観光関係者が一体となった持続可能な観光推進体制を構築していくと明記しております。しっかりと役割分担をしつつ、連携しながら戦略を推進していきたいと考えております。また、各団体に対しての補助金につきましては、申請段階からしっかりと精査しながら、適切な事業執行の指導をしながら伴走支援をしてまいりたいと思っております。

次に（２）一般財団法人酒田DMOとの連携でございます。ご提言にありますとおり、会計の透明化を図るため、まずは補助金交付要綱の見直しを行いました。そして、今申し上げた補助金等交付団体への指導と同様に、申請からしっかりと事業精査を行い、適切な執行を確認していきたいと考えております。また、日本人誘客の強化、動画を含めたネットコンテンツの更新と強化につきましても、DMOと情報交換に努めながら、事業進捗の確認に努めてまいりたいと考えております。今年度は、DMOの職員自らイベントや観光名所、ジオパークなどの取材に足を運んで積極的に行っておりまして、SNSでの発信にも力を入れております。ぜひご覧いただきまして、委員皆様からもフォローしていただければと思います。

続きまして（３）一般社団法人酒田観光物産協会との連携でございます。先ほどご説明いたしましたとおり、現在酒田DMOとの新たな組織体制に向けて準備を進めているところでございます。地域観光の司令塔機能を一本化し、より稼げる観光地域をつくるためにしっかりとした体制を作っていきます。今年度は酒田観光物産協会のホームページ「酒田さんぽ」をリニューアルする予定となっております。現在準備を進めていると聞いております。一方で、ご提言いただきました祭りなどのイベントでの役割分担の明確化につきましては、大きな課題であると認識しております。新たな組織ですぐに全てを担うことは難しいと捉えておりますが、持続可能な形で実施するためには、新たな組織に何らかの形で位置づける必要があると考えております。

続きまして２、観光資源の活用促進をすることでございます。今年度予算措置している事業につきまして、抜粋してご説明させていただきます。（２）文化政策課との山居倉庫および周辺の観光を協議でございます。こちらは重点アクションプランにも観光ハブ機能の維持と打ち出しております。先ほどご説明いたしました観光戦略アクションプラン推進事業として、現在３Ｄ動画の作成や音声ガイドシステムの事業について準備中でございます。また、敷地内でのイベントの集客につきましては、６月１３日に、これは恒例となりましたが、「山居バル」が開催されました。同日に、前回６月は「サカタカダブラ蚤の市」というものも開催いたしまして、山居倉庫周辺が大変賑やかになりました。いずれも民間の団体が行っているイベントでございますが、山居倉庫周辺を賑やかにしたい、山居倉庫を知ってもらいたいという思いが強く、こういった市民の盛り上がり大切に、酒田のファンを増やすだけでなく、一緒にまちをつくる仲間を増やしていくというプロセスがシビックプライドの醸成に繋がっていくと考えているところでございます。

続きまして（３）ジオパークを観光資源へと更なる活用促進でございますが、まずはユネスコ世界ジオパーク認定を目指す取組を進めていきます。委員皆様にもお知らせいたしましたが、７月２０日から２４日まで、本日、調査員の方はお帰りになったんですけれども、日本ジオパーク委員会の調査員の方々がユネスコ世界ジオパーク国内推薦地域認定の現地調査のために、本市他遊佐町、由利本荘市を訪れました。国内推薦の結果発表は今年の秋ごろを見込

んでおり、推薦を得られれば11月末をめどにユネスコへの申請を進める予定となっております。国内推薦を受けるためにジオブルーの日として、青いポロシャツですけれども、職員だけではなくコミュニティセンターの職員、また荘内銀行でジオブルーの日ということで設けて、啓発に協力していただいております。また市役所庁舎への啓発看板の設置なども実施しております。引き続き市民の機運醸成のために活動していきたいと考えております。

続きまして（５）「美酒美食のまち酒田」を観光資源としたPR強化では、先ほどご説明いたしました山居倉庫の3D動画や音声ガイドシステムの整備に合わせまして、観光戦略アクションプラン推進事業にもう1本、グーグルビジネスプロフィールを活用した作戦を準備中でございます。グーグルマップ上へ飲食店の登録数を増やすとともに、グーグルビジネスプロフィールが活用されることで、本市の自慢するお酒または食などを発信し、消費額の増加を目指していきたいと考えております。

続きまして（７）クルーズ船寄港時の観光消費拡大では、今年度23回予定するクルーズ船寄港を大きなチャンスと捉えまして、地域経済の活性化に繋げていきたいと考えております。まずは一旦春クルーズが終了いたしましたので、7月10日に関係者にお集まりいただき、意見交換を行いました。様々な視点から課題が出され、まずは解決できるものから着手し、秋のクルーズに向かって準備しているところでございます。船種により、乗客の人数、また国籍なども違うために、毎回同じ準備をしても効率的ではなく、効果が出にくいという意見も出ました。秋クルーズにおいては、春クルーズの反省を踏まえ、より乗客の皆様は酒田のものを買って食べて楽しんでいただけるような準備を進めてまいりたいと思っております。

最後に（11）欧米豪を対象としたインバウンド誘客の推進では、まずはしっかりと県内・市内のインバウンドの傾向を分析し、戦略を考えていきたいと考えております。欧米豪の富裕層をターゲットとしたSNSなどの情報発信を行い、SNS複数投稿による検索トレンド入りと拡散効果による本市の認知度の向上、そして旅行者の獲得を検討しているところでございます。最初に申し上げましたとおり、観光戦略がスタートしてまだ4か月余りでございまして、重点アクションプランにおいても準備中や検討中の項目が多いような状況でございます。次回予定されております12月の検証では、今以上に具体的に進捗状況のご報告ができるように取り組んでいきたいと考えております。

以上簡単ではございますが、取組の状況をご報告させていただきます。

○武田恵子副委員長 どうもありがとうございました。では今の説明を聞いて、まず予算が措置されている項目についてご質問や意見はございませんか。一人ずつ全員に意見を聞きますがよろしいですか。

市原栄子委員。

○市原栄子委員 予算措置されている、されていないって言われるとちょっと困ってしまうんですけど、「完了」部分に予算措置されているのはどうしてなのでしょう。観光戦略に盛り込まれたか盛り込まなかったか、観光戦略に提言を全部入れることで「完了」と書いてあって取組は続けていくという、その根本的なところがわからなくてお尋ねをいたします。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 先ほど説明の冒頭でもご説明させていただきましたが、新たな観光戦略に盛

り込むべき附帯項目などを様々ご提言いただいたものですから、観光物産課としての回答といたしましては、全ていただいたものは観光戦略の方に盛り込んでおりますという意味で「完了」とさせていただいております。ただその認識がちょっとずれてしまっていたということもあったものですから、先ほど補足説明としまして、事業の進捗もピックアップさせていただきながらご説明を申し上げたところでございます。

○武田恵子副委員長 市原栄子委員。

○市原栄子委員 そうした中で、酒田市の観光戦略に関する提言の1番、これまでの総括をすることと出ておりました。KPIがなかったのでこれから入れていくっていうご説明がありました。そのところは大変重要なこと。そういった意味ではこの提言が生きてきているのかなと思うんですけれども、そのところがうまく説明がされていないと検証としてはちょっと物足りないかなと感じておりました。ただいまの説明を受けて、観光戦略の中で取り組まれていること、そして予算措置の説明で、とにかく全部取り込んだからそれでおしまいっていう雰囲気ではなかったということで理解できました。そして今年度の予算措置があるもの、ないものということがありますけれども、ないものでも長期ですから、これから取り組んでいくと考えてもよろしいでしょうか。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 今、市原委員がおっしゃったとおり、これから進めていくということでございます。そしてこの計画自体が3月にできたわけで、今年度の予算措置に実は間に合わなかったという事業も多々あります。ただ来年度の予算に向けて、また今年度準備を進めて検討しているものもございます。新しい計画の方にも3年間でいつから進めるかなども示しておりますので、それをもとにしながら準備を進めていきたいと考えております。

○武田恵子副委員長 市原栄子委員。

○市原栄子委員 ぱっと見たときに全部「完了」なので、一体これからどうしていくのかなと、これを初めて見た状態ですと、とにかく計画に書けばいいという意味合いなのかなとびっくりしてしまったところがあります。今、課長から説明された部分が出されるのであれば、この提言に対して検証はいいのかなと思っています。特に今年度に予算措置されているというのは、ある意味予算特別委員会にも出ているわけですから、そうした意味ではこういった説明も受けていたんだということで、大変丁寧なご説明をいただきましたけれども、できれば年齢的に細かい文字が大変苦しいです。読めるところまでこうやって拡大するとずれてわからなくなってしまうので、大変申し訳ないんですけども、もう少し大きな字で見やすくしていただけると助かります。これは意見として言わせていただきます。

○武田恵子副委員長 では続いて齋藤直委員。

○齋藤直委員 まずは調査票ありがとうございました。去年の9月に政策提言をして、観光戦略の方に全て盛り込んだということは評価をしたいと思っています。そんな中でも、まだまだ1年が経っていませんので、これから観光戦略の計画も3年間あるわけですし、これからどういうことで観光戦略が進んでいくのか、政策提言が進んでいくのか、そこは私達の方でも注視をしていきたいなと思っています。今日はあくまでも中間報告ということでしたので、先ほど申しましたとおり、全て盛り込んでくれたということは評価したいなと思っています。その中でも特にクルーズ船の件で先ほど課長からも説明がありましたが、今年度は23回入ってくるというところで、これをチャンスに地域の経済化を図っていきたいというお

話がありました。クルーズ船の受け入れ体制の再構築ということで文言は観光戦略の方にも入っております。当局としては、例えばクルーズ船の先進地に視察に行く、勉強会に行くことはあるのでしょうか。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 今のところ観光物産課で視察は考えていないですけれども、市全体としては商工港湾課の方で視察には行っておりますので、情報を集めながら参考にさせていただきたいと考えております。

○武田恵子副委員長 齋藤直委員。

○齋藤直委員 酒田市長が函館から乗って、今度は課長が乗るというお話を聞いておりました。現場の空気感といいますか、そういう視察、勉強会も大変必要だと思っております。ぜひそこは担当が違うと言いながらも、やはりしっかり取り組んでもらいたいなと思っております。会派で先月、静岡県清水市の清水港に行っていていろいろとお話を聞いてきました。清水港は平成2年から今年度まで36年目。平成2年のときは2隻から始まって今年度は113回も来ているということです。一つの部署だけでなく、全庁的にやっているのだそうです。そんな中でも令和6年からクルーズ船政策プロジェクトを全庁的に作って、港湾振興、観光、または交通渋滞に係る交通政策課というところもあって、商工業いろんな取組が一つのプロジェクトチームを作っているというお話でした。大変参考になったところであります。36年たってもやはり観光の窓口をしっかりしなくてはいけないというお話があって、観光案内を今年度からはしっかりやるというお話でした。今までは観光ボランティアの方々からやっていただけたけれども、観光ボランティアではやはり限界がある。船の多様性もあって専門家を今年度から入れているそうです。その専門家というのは日本旅行だそうです。酒田市には23回入ってくるということで大変これからも期待をしているところであります。一方清水市は113回も入ってくるため市民の歓迎ムードが薄れてくるのではないかと質問をさせていただきました。確かに100回くらいあると毎日のように入ってくるような状態で、市民の意識も少し薄れている。ただそんな中でも昼出港するときに花火の打ち上げも毎回しているそうです。予算としては1回につき10万円、15発ということでしたけれども、その花火の打ち上げが市民にも非常に好評だというお話を聞いています。今話したことはあくまでも参考意見として、いろんなところに出向いて勉強することもいいと思っています。今後、クルーズ船の観光戦略はチャンスというお話もありましたので、そういうところも含めて少しお話をさせてもらいました。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 ご意見ありがとうございます。これまで私自身も堺港ですとか秋田港に行っております。観光物産課の職員もいくつか行っておりますし、商工港湾課の職員もかなり行っております、それは結構フィードバックされているところがございます。それから前回市長が乗って船内でPRしました。今年度残りの回数についても、観光物産課の職員がそれぞれ2名ずつ乗って実際に体験しつつ、他の港も見ながら経験できるような研修も含めた取組はしていきたいと予定しております。それから先ほど清水港の全庁的な体制は大変参考になると思います。なかなか視察の予算はつかないですけれども、こうやって言うただけですと、かなりうちの方は予算要求の際に頑張りますので、ぜひ応援いただければと思います。

○武田恵子副委員長 続いて田中委員お願いします。

○田中斉委員 調査票を拝見してアクションプランを見たんですけども、提言の（４）観光資源の活用促進をすることとありまして、やっぱり酒田市民は山居倉庫がこのままでいいのかと思っているんです。国の言うことを聞いてクローズにしたままでいいのかと。それはもっと別の政治力でやるべきではないかと思いますが、答えられたら教えてください。

プロジェクションマッピングとか外でできるものは前倒ししてさっさとやった方が、ヨーロッパの人が来たがるわけですから、そこは検討すべきではないかと思います。アクションプランで早く結果を残せば問題はないと思うんです。

○地域創生部長 最初に山居倉庫の状況でございます。インフォメーション機能の12号棟と11号棟のプロポーザルに何社か申し込みがあって、今現在文化政策課等でそれを進めております。審査会が来週、再来週あたりにありまして、私も審査に出ております。観光物産課としての希望部分はしっかりと伝えながら、入れるものはやっていきたい。それから、先ほど説明しました3Dマッピングといったデジタル系の機能はそのままインフォメーションの方にも活用できるように考えておりますし、その部分で例えば伝統工芸品とかもしっかり販促に繋がるようにいろいろと進めているところでございます。観光物産課としてはできるだけ早く11、12号棟だけでなくその他のところも観光の資源として活用していきたいと思っております。文化政策課の方にも1回しっかりと働きかけながら進めていきたいと思っております。

○武田恵子副委員長 田中委員。

○田中斉委員

○武田恵子副委員長 暫時休憩いたします。

午後 2 時 17 分 休 憩

午後 2 時 18 分 再 開

○武田恵子副委員長 再開します。田中委員。

○田中斉委員 私の発言の後半部分とそれに対する地域創生部長の答弁部分の削除をお願いいたします。

○武田恵子副委員長 ただいま田中委員から、発言削除の申し出がございましたがこれを許可してよろしいでしょうか。

(異議なし)

○武田恵子副委員長 市原栄子委員。

○市原栄子委員 先ほど発言させていただいた中で、報告書が大変読みづらいというお話をさせていただきましたが、訂正をさせていただきます。これは議会の特別委員会の中でこういう書式で、この提言に対する回答をとというのが出ていました。それなのに見づらいということを書いてしまって大変申し訳ありません。もう一つ、やっぱり1ページという規定はなかったはずなので、ぜひとも少し行間を空けるなりしていただいて、読みやすくしていただきたいというふうなことでの要望ということで訂正をさせてください。

○武田恵子副委員長 理解できたと判断して進めさせていただきます。

では、大変長らくお待たせいたしました。前回のこの政策提言に関わった池田委員。

○池田博夫委員 ただいま検証ということで調査票をいただきました。本当にご苦労様でございました。まだまだ短時間なわけで今後の様々な取組に期待をしているところであります。そして（４）観光資源の活用促進をすることとありますけれども、クルーズ船の件で、私なりには、酒田市は鳥海山とか玉簾とかの観光ルートをイメージ的に出した方がいいんじゃないかと考えています。そういうことができないのか、できるのかその辺をどう判断しているのか。やっぱり様々な観光ルートを考えますと、鳥海山の雪の壁。うちの方は秋田よりは若干1ヶ月も除雪が遅れているとかっていう話がありますけれども、よそではそういう雪の壁を観光バスで行くとクルーズ船のお客さんが喜ぶっていう話もあります。せっかくそこに素晴らしい資源があるもんですから、玉簾そして平田、松山能を組み合わせたルートを何とか作られないのかなと思っています。その辺の考えをちょっとお聞きしたい。

そしてまた山居倉庫、先ほど田中委員からもありましたけれども、7月末に私の身内が法事をやったときに、結構山居倉庫の裏通りに観光客が来ています。11時頃から3時頃まで結構なお客さんが通るもんですから、やはり山居倉庫は観光資源になっていると思います。その辺様々計画されていますけど、やっぱり優先順位を強く持って早くそういうふうな資源を観光資源にしていきたいと希望を持っております。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 ご意見ありがとうございました。最初のクルーズ船のところで、自然などを生かしたツアーといったところですが、こちらの方でも様々なルートをランドオペレーターに提案はさせていただいております。ちょうどタイムリーですけれども8月のJRの観光キャンペーンでも自然などを生かしたツアーも紹介していただいたり、ジャパネットでも本間美術館ツアーなども取り入れていただいたりしました。どうしても何コースかある中の一つにしかなくて、もう少し推していきたいなと思っているところはございます。ご質問と合わないかもしれませんが、私もジャパネットの埠頭の観光ブースにいたときに、「日帰り温泉ないですか」「近いところはどこですか」とすごく聞かれました。やはり温泉にゆっくり入りたいという、ジャパネットに乗ってくる日本の方々ですけれども、船のお風呂が狭いとか、そういったことで温泉っていうお声もあって、そのときはどうしてももうタクシーをご紹介するしかなくて「アイアイ」だとか「ゆりんこ」だとか、そういったところをご紹介はさせていただきました。やっぱり船ごとのお客様のニーズが違うというところもありますので、温泉でゆっくりしてもらおうコースなども設けられればいいのかと、これは個人としての話ですが、これから作り上げてツアーなどで推していけたらなと考えているところでございます。

山居倉庫につきましては、文化政策課と情報を共有しながら、保存活用計画とうまく折り

合いをつけながら観光のハブ機能というところで、準備できるところからやっていきたいな
と思っているところです。

○武田恵子副委員長 続いて、安藤浩夫委員。

○安藤浩夫委員 本当に調査表をご苦労さまでした。これだけ取り入れて、これから予算づけ
に入っていくのだと思います。先ほど皆さんからかなりクルーズ船に期待しているという話
があったんですけども、やっぱり日本人観光客をどう取り入れていくか。この間も一般質
問をさせていただいたんですけども、ふるさと住民登録制度というのが始まりますので、
酒田ファンをこれからどうやって増やしていくか。それによって日本人の観光客を増やして
いくことが重要でないかと。通訳だとか案内だとか、そういうのもかなり負担になってくる。
やはり日本人客を増やしていくっていうことで二次交通の問題がかなり重要になってくるの
ではないかと、やっぱり一番引っかけます。アクションプランでもライドシェアを検討し
ていくとなっていますけれども、それを早くやらないと、日本人客なり外国人客なり
が行きたいところに行けない。タクシーも運転手不足っていう問題もありますので、そこを
早く解決していかなければいけないのではないかと考えています。そこら辺どうでしょうか。

○地域創生部長 二次交通の部分につきましては、本当におっしゃるとおりで、ここが実は酒
田市の観光の中でも10年以上言われ続けているものでございます。市長からも特に考えて欲
しいと言われている分野でございます。これまでの分析でも、一番大きいボリュームゾーン、
60%が車でいらっしゃるお客様であることは事実でございます。ただ、これが今300何十万
人と入れ込み数がどんどん増えていかないのは、逆にそこにこだわりすぎているからなのか
なという部分もあります。パイを大きくしない限りこれ以上増えていかないとすると、これ
までの車のお客様じゃなくて、飛行機だったり、電車だったりいらっしゃるお客様に対し
て、二次交通がしっかりあればこそ打っていけるのかなと考えております。今回の観光戦略
の中でも、電動モビリティを入れるとか、ライドシェアを検討していくだとかを入れており
ますので、ここをできるだけ早いタイミングで庁内の検討を進めていきたいなと思ってお
ります。これも最初の3ヶ年の部分に入っておりますので、これをしっかり進めていきたいと
思います。特に電動モビリティなどは、地方の自然との協調部分でもすごく親和性が高く、
ガソリンエンジン車でどんどん自然の中を走るんじゃなくて、例えば風力発電で作った電気
を使って電動モビリティが自然の中を走るというのはすごく親和性が高いと思いますので、
今後しっかりと進めてまいりたいと思います。

○武田恵子副委員長 ありがとうございます。では最後になりました、守屋委員。

○守屋紀彦委員 表をしっかりとまとめていただいたことに感謝申し上げたいと思います。この
表を議会で指定したということをおもひ今知りましたけれども、その中で、今年度予算化され
ているもの、なしと書いてあるものがありますけれども、一方、来年以降どうなるのかとい
うのが気になる部分もあるんです。まだお話できないものがあるかと思いますが、来年度以降、
予算措置について検討している項目があれば教えていただければと思います。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 先ほどから申し上げているとおり、始まってまだ4か月です。来年の予算措
置というところはアクションプランの3年計画を参考としながら、これに沿ってしっかりと
準備を進めながら令和9年度の予算要求に向かいたいと思っております。答えになってない
ような形で申し訳ございません。

○武田恵子副委員長 守屋委員。

○守屋紀彦委員 事情については承知いたしました。12月にもう1回、報告があるということですので、改めてまとめて報告できるものがあれば、ぜひともわかりやすく整えていただこうお願いしたい。あと個別に確認させていただきたいのが、グーグルビジネスプロフィールの飲食店とか、勉強会か何かはやってらっしゃるでしょうか。

○武田恵子副委員長 観光物産課長。

○観光物産課長 こちらの方は、これからプロポーザルで委託業者を決めたいと準備を進めているところです。飲食店の方々からそれを使っていただけるような勉強会は予定しておりますが、もう少し先になるかと思います。できるだけ秋のクルーズに間に合わせたいという考えで進めている状況です。

○守屋紀彦委員 グーグルビジネスプロフィールはまだ整備されてない飲食店も多いと思うので、整備を促進していただきたい。あとやっぱり内容もそうですけれども口コミ数も重要になってくるということで、私も最近知ったんですけれども、知識が増えてくるとお店でも口コミを書いてもらうためにキャンペーンをやろうと思うんです。それが違反に当たるということだったので、その辺りをちゃんと指導しながらやらないと、グーグルに口コミを書いたら例えば次500円引きしますよ、といったキャンペーンをやっていることがグーグルにばれてしまうと、プロフィール自体が削除されてしまうということだったので、そのあたりは講師の方はもちろんきちんと指導されるんでしょうけれども、気をつけながらやっていただきたい。

あと、観光プラットフォーム機能というのは会議体の設置なのか、それともシステムの設置なのか、こういったプラットフォームなのか教えていただければと思います。

○武田恵子副委員長 地域創生部長。

○地域創生部長 プラットフォームにつきましては、システムではなくて、会議体のイメージでございます。来年度、観光物産協会とDMOとを一体化させる方向性であります。今まで観光物産協会で行っていた部会単位のことを、今回DMOの中でやっていく形になるのかなと考えております。目的ごとにやるクラスター的なイメージです。例えばインバウンドを頑張りたいっていう皆さんであったり、逆に日本人観光客に注力したい方々だったり、いろいろできてくると思いますので、そういった会議体のイメージでございます。

○武田恵子副委員長 守屋委員。

○守屋紀彦委員 会議体ということで承知いたしました。

あとスポーツツーリズム・グリーンツーリズムに関しては、まだこれから検討というような段階になってくるかと思うんですけれども、これについてもぜひ来年度以降、何か具体的な計画を予算化できるように検討を進めていただきたいと思いますと思っているところでございます。

もう1個、先ほどちょっとお話がありましたけれども、電動モビリティでございます。アクションプランを見ますと、令和9年から試験予定となっていました、今のところどういったモビリティで試験していくのか、もう大体効果が上がってきているのでしょうか。

○武田恵子副委員長 暫時休憩いたします。

午後 2 時 3 6 分 休 憩

午後 2 時 3 7 分 再 開

○武田恵子副委員長 再開いたします。観光物産課長。

○観光物産課長 お時間をいただきましてすいません。今年度は、まずはアンケート調査を行いまして、こういったニーズがあるか、こういったものがより良いのかということで検証をさせていただきまして、来年度に予算措置できるように準備を進めていきたいと思っております。そして先ほど守屋委員からご意見がございましたように、試験導入に向かって進めていきたいと思っていますところでございます。

○守屋紀彦委員 ではこれからアンケートなどをとってまとめていって、順調にいけば来年試験をやっていく流れということで承知しました。電動モビリティは、様々な自治体で、ヤマハの電動カート形式のものとか、ゴルフカートみたいなものも見ます。飛島ではグリーンスローモビリティみたいな、少人数が乗れるようなカートもいいんじゃないかなと思うので、その辺りぜひ導入できるよう令和9年度以降に期待しますので、よろしくお願いします。

○武田恵子副委員長 地域創生部長。

○地域創生部長 最近、首都圏の方とかで電動のトゥクトゥク、三輪車を観光客にレンタルしている事例も拝見しております。いろんな形体があると思いますので、しっかりと検討していきたいと思います。

○武田恵子副委員長 ここまで一通り皆さんから意見をいただきました。私も一つ聞きたいのですが、山居倉庫が出てきましたけど、旧鑑屋の工事がなかなか終わらなくて人が入れない。あれほど「おしん」に結びつけられるものはないのに残念だなと思っているのですが、その辺の情報っていうのは、工事期間が決まっているので何ともならないんだと思うのですが、山居倉庫と結びつけたアピールという発想はないのでしょうか。

観光物産課長。

○観光物産課長 旧鑑屋は長らく工事中だったので、オープンの際には、日和山には去年橋田壽賀子先生の石碑もできましたし、日和山から旧鑑屋、そして山居倉庫という一体的なストーリーを作って皆さんから楽しんでもらいたい。旧鑑屋が再開したときには文化政策課と情報共有しながらこういった感じで入館者数を増やしていくかなど一緒になってまた盛り上げていきたいなと考えております。

○武田恵子副委員長 ありがとうございます。

もう一点、この度ジャパネットクルーズが台風の関係で来られなくなったので、例えば本間美術館でお茶をたしなむ予定だったお客さんたちにお菓子も用意しているわけで、それに準備しているのが前日になってキャンセルになった場合、他のところも含めてですが、保証はないんですよ。

観光物産課長。

○観光物産課長 6月3日の抜港で、飲食店の皆様は用意していたものが無駄になってしまったというお声も聞きましたが、今回、補償はしていません。ただし、それを受けまして、抜港になったときにどうするかという課題がすごく見えたというのは、正直勉強になったところでございます。7月10日に意見交換会を行ったんですけれども、やはりそういったときの対応ということで、今回は人海戦術で、「明日は抜港になります」とメールで関係者には流したんですけれども、その連絡だけになってしまったということは大きな課題かなと。逆に今度はそれを生かして、例えば今武田委員がおっしゃったとおり、おもてなしのためにいっぱい仕入れてしまったといった情報を集めて、イメージ的にはコロナのときの給食の材料みたいな形で、「市役所でも販売します、市民の皆さんどうですか」というような流れを

作ったり、また今回はたまたま議会中だったこともありまして、議員の皆様からお昼にぜひ飲食店の方に足を運んでくださいというお声がけもさせていただきましたけれども、そういった情報も、本来であればLINEだったり、SNSとかで発信して市民の皆さんからも協力をいただくといった対応、意見交換会でもそういう体制を作ろうという意見も出ましたので、次にそういうことがあったときにはということで、準備を進めていきたいと考えています。

○武田恵子副委員長 ありがとうございます。やっぱり経験してみないとわからなくて、私も初めて聞いて、そういうこともあるんだって思った次第です。意見交換会を経て、やっぱり一つ一つ前進しているということもわかりました。本当にありがたいことだと思います。

それから、前の委員会からいた者としては、散々もめたDMOと観光物産協会の件、早速動いていただいて新しい体制ができていくということは大きなことではないかなと高く評価しております。前回の委員会ではこれがものすごかった。

当局からはこのように調査票に詳細に記載いただいて、委員からの発言がありましたように、本当にありがとうございます。委員長席からも御礼申し上げます。そしてこれからまたあるわけですが、次回は12月に2回目のヒアリングに進むということで、皆さんよろしいでしょうか。

(異議なし)

2 その他

○武田恵子副委員長 その他に移りますが、その他何かございますでしょうか。

(なし)

○武田恵子副委員長 再度申し上げます。12月2回目のヒアリングがあります。よろしくお願いいたします。当局におかれましては、本日出た意見や各提言項目の意図、目的を改めて整理し、進捗が認められなかった項目課題点についていろいろ意見が出ましたので、12月までさらに踏み込んで進めていただくようお願い申し上げます。それではこれもちまして、建設経済常任委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 2 時 4 6 分 閉 会